

第3学年 国語科学習指導案

日 時 令和2年11月12日 5校時

児 童 3年1組 男子9名 女子11名 計20名

指 導 者 武藤 有希子 中村 めぐみ

1. 単元名 「すがたをかえる大豆」のおもしろさについて考えよう～説明文ループで見てみよう～

教材名 「すがたをかえる大豆」 (8時間)

2. 教材について

「すがたをかえる大豆」は、大豆に手を加え、人々が工夫しながら摂取してきたこと、昔の人々の知恵に筆者が感心していることが読み手に伝わってくる文章である。説明文としては、問いは文章中にはないものの、読み進めていくことで「中」の段落の繰り返しに気づくことができる。その繰り返しである「くふう」という言葉が事例に関わっていることに気づくこともでき、自分で問いを考えることで、この説明文の話題は何かということに行き着くこともできる。また、事例や写真を比較していくことによって、「中」の書き進め方には順序性があることにも気づくことができる。そのため、説明文の構造や書き方を学ぶ上で適した教材であると考えられる。

3. 児童について

児童は、これまでに2年生で、「たんぼぼのちえ」において順序に気を付けながら読む学習をしている。また、3年生の「言葉で遊ぼう」では、説明文の構造や段落ごとに1つの事例があることについて学習している。さらに、「こまで楽しむ」では、説明文の構造や事例に加え、段落と段落の関係についても学習してきた。その中で筆者の伝えたいという気持ちから、様々な工夫をしながら表現していることに気付くことができた。一方で叙述に立ち戻って深く考えたり、自分の経験と結びつけながら読み深めたりすることに関してはまだまだ課題がみられる。

本単元の学習を通して、説明文の構造や事例の挙げ方等の工夫について読み進めるとともに、叙述に立ち戻りながら自分の経験と結びつけて感想をもつ学習を行いたい。

4. 指導にあたって

本単元では、説明文の構造や事例の挙げ方等の工夫について読み進めるとともに、叙述に立ち戻りながら自分の経験と結びつけて感想をもつことを重点として指導する。そのために、文章全体の組み立てとそれぞれの段落の組み立てに着目したり、事例等に着目して感想を持ちながら読んだりする学習を行う。その際、児童の感想から生活に根付いているものを「説明文ループ」として取り上げ、感想を書く観点を貯めていく。また、単元の始まりと終わりに、説明文を読んで受け取ったことを感想として書く言語活動を位置付け、児童が自分の学びと成長を感じられるようにしたい。

児童が単元を通して資質・能力を身に付けていくために、下記の点を工夫して指導にあたりたい。

単元の導入においては、本文を読んで面白さについて感想として書くことを意識づける。

構造と内容の把握では、説明文の展開の仕方や「くふう」に着目しながら事例を見つけて要点をまとめることで文章全体の組み立てとそれぞれの段落の組み立てについて理解を深める。

精査・解釈では、事例を詳しく読み、面白さについて感想をまとめていく。筆者の伝えたいことを考えることで、大豆や先人への畏敬の念について捉えさせるとともに、文章全体について再度考える時間としたい。

考えの形成では、精査・解釈で考えてきたことを基にして、面白さについて感想をもたせる。その際には、学習したことや自分の生活面と比較しながら、自分の考えを持てるようにしたい。

共有・振り返りでは、もう一度本文を読み直して感想をまとめることで、学習の深まりや自分の成長を感じ取らせたい。また、友達と自分の感想の違いに目を向け、さらに考えを深めさせたい。

5. 本時の指導（7／8）

（1）本時の目標

「すがたをかえる大豆」の面白さについて、学習したことや自分の生活を結び付けて感想をもつことができる。

（2）本時の展開

	学習活動	学習内容	指導上の留意点と評価
つかむ 5	1. 課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「すがたをかえる大豆」のおもしろさは何だろう。</div> 2. 学習を見通す。	・面白さとその理由について書くことを確認する。	・前時までの学習を確認し、学習の見通しを持たせる。 ・面白さは国分カードを参考に、その理由は説明文ループを参考に考えるようにさせる。
考える 30	3. 課題を解決する。 (1) 感想を書く。 【個人】 ・ノートに面白さを書く。 ・付箋に感想を書く。 【ペア・グループ】 ・書いたことや迷っていることを自由に交流する。 ・付箋に書いてある内容を付け足す 【全体】 ・話し合ったことも自分の考えに入れながら、課題に対しての考えをまとめる。 (2) 考えをまとめる。 ・ペア・グループ活動や全体で話し合ったことを基にして、自分の考えをまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">まとめ（例） わたしは、大豆がいろいろなすがたにへんしんするのがおもしろいと思いました。大豆を食べる楽しみ方がいろいろあるからです。よくに豆をひじきに入れたり、カレーに入れたりして食べています。</div>	○本文の面白さについて、自分と比較しながら考えを書くこと。 【観点】 面白さの観点（国分カード） 「事例」「筆者の思い」 「説明文の書き方の工夫」 感想の観点（説明文ループ） 「初めて知ったこと」 「知っていること」 「知りたいこと」 「自分の食生活」等 ・お互いの受け取ったことを認め合い、読みの世界を広げること。	・「すがたをかえる大豆」の面白さについて生活経験と比較しながら感想を書く。 ・面白さは面白さの観点（国分カード）を参考にさせ、本時は感想の観点（説明文ループ）を通して感想を様々考えさせる。 ・ペア・グループ活動では、書き方にどんなものがあるか交流し、感想を様々な観点で書くことができるようにする。 ・児童の発表から書き方の工夫の観点や生活体験等に結びついてるものを板書し整理する。 ・話し合ったことを参考にしながら、自分の考えを加除修正する。 ・板書やノート、付箋への記述を参考にしながら、課題に対しての考えをまとめさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">評価規準 書き方の工夫を挙げ、引用したり、生活経験をあげたりしながら自分の感想や考えをもっている。</div>
振り返る 10	4. 振り返る。 ・本時の学習の振り返りを行う。	○自分の考えが深まったこと（自分で考えたこと・友だちから学んだこと）について振り返ること。	・学んだことを発表し、学習したことを実感できるようにさせる。

すがたをかえる大豆

国分 牧衛

「すがたをかえる大豆」のおもしろさは何だろう。

面白さ (国分カード)

感想 (説明文ルーペ)

豆のしゅるい
大豆、あずき
ソラマメ

ルーペ【知っている】

ルーペ【へんしんの数】

よく考えたな
すごい

ひじき きなこ
あまくてすき
カレー アイスに
牛乳に

ルーペ【へんしんのしかた】

時間がかかるもの
も

ポケモンみたい

あげだしどうふ
あぶらあげ

しぼりかすは、うの花

雪の下にうめるなつとう
みそづくりが楽しみ

ルーペ【はじめて知った】

みそやなつとう
が、小さな生物の力
をかりていたなんて

もやしが安い

ルーペ【ほかの食べ物】

米もかわる
小麦もかわる
魚もかわる

きなこ、あまくてすき
なつとう、くさい

ルーペ【書き方】

かんたんなものから
むずかしいもの
よく考えたな

ルーペ【知りたい】

ほかにもあるかな

すがたを
かえる大豆

わたしは、(国分カードからえらぶ)がおもしろい
と思いました。(説明文ルーペからえらぶ)です。